

説明資料(第2稿)での記載箇所		章項目	5.3.2	ページ	p.41	行	2行目
事業名	阪神西大阪線淀川橋梁改築事業(再掲)		河川名	淀川			
府県	大阪府	市町村	大阪市		地先	此花区伝法外	

現状の課題
 淀川橋梁は桁下高もOP + 4.3mと低く、
 流下能力は近傍の河積に比して7割程度しか確保されていない。
 また橋梁面もOP + 6.3mと現堤防を大幅に下回っており、高潮時は陸閘により対応している。

河川整備の方針
 橋梁取り付け部の整備と周辺の土地利用との調整に多大な時間とコストが必要であり、河川整備との優先度を十分に判断し実施する。

位置図



事業箇所

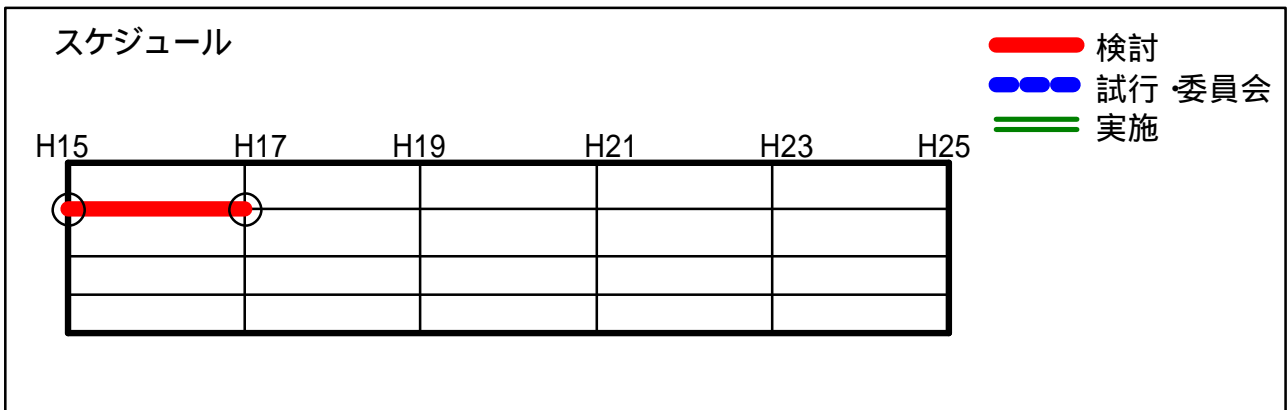
具体的な整備内容

阪神電鉄西大阪線橋梁の改築実施時期を検討する。

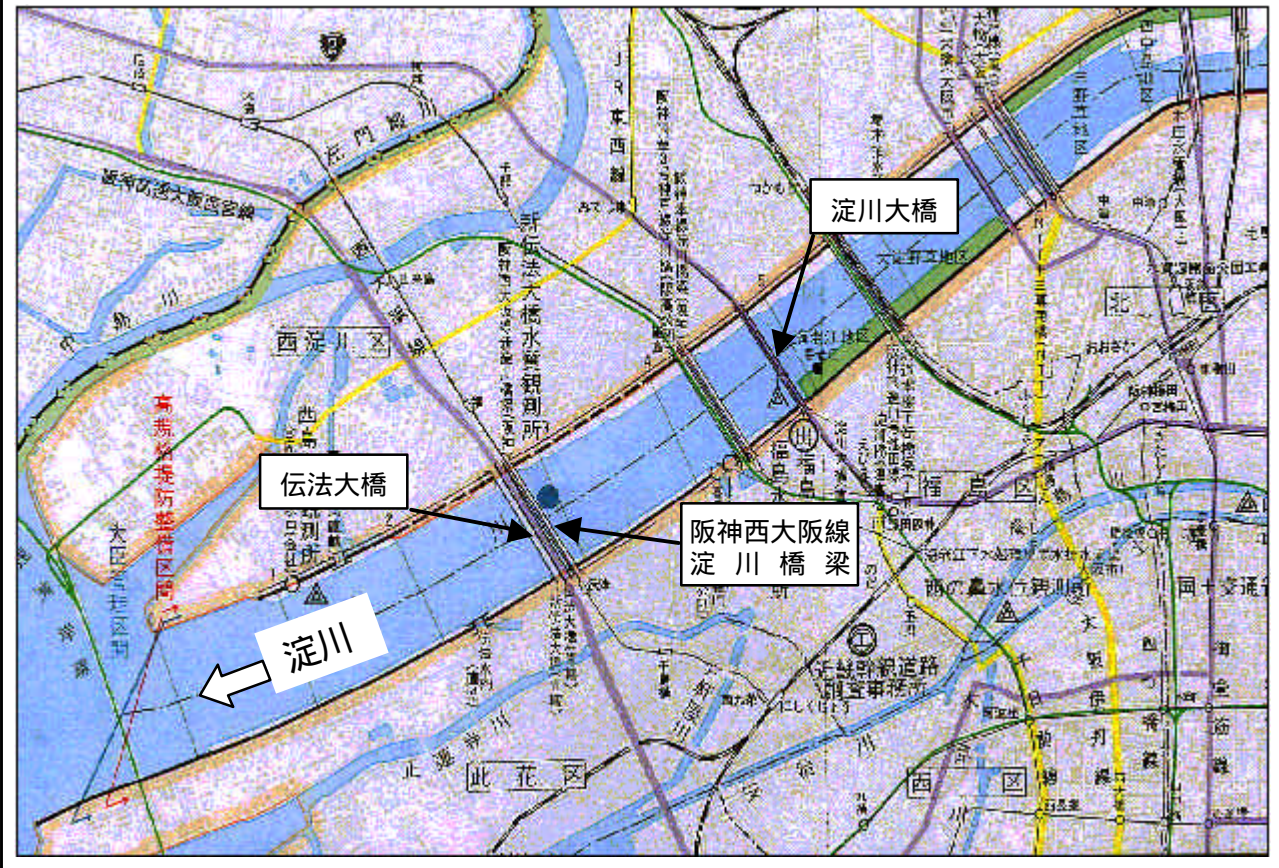
他の同様の橋梁(淀川大橋、伝法大橋)の改築を検討する。

事業の数量 諸元等

橋梁改築 L= 860m (11径間)
 陸上取付部改築
 右岸部 L= 910m
 左岸部 L= 790m



位置図

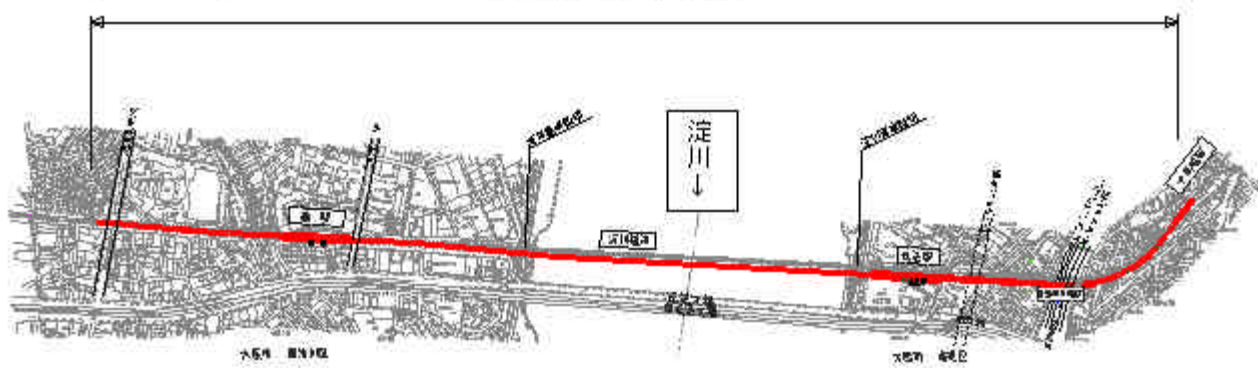


構造図

阪神西大阪線 淀川橋梁

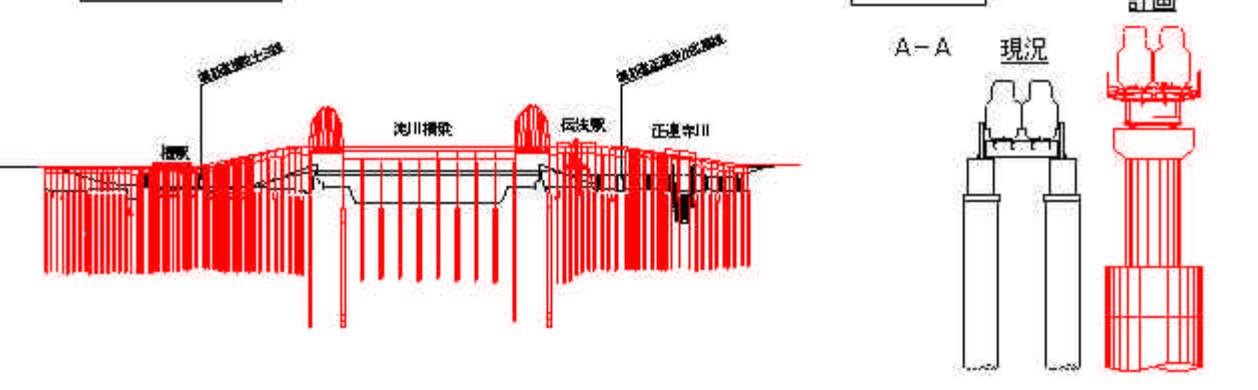
平面図

事業区間 L=2.6 km



橋梁一般図

断面図



整備効果

高潮時には陸閘(鉄扉)を閉鎖するので、電車の運行が出来ません。

- ・大阪湾周辺では、昭和9年の室戸台風、昭和25年のジェーン台風、昭和34年の伊勢湾台風、昭和36年の第二室戸台風など、甚大な高潮被害を受けています。
- ・高潮対策として、堤防の嵩上げや橋など打上(こうじょう)対策が行われてきました。
- ・阪神西大阪線橋梁は橋面高がOP+6.5mと計画堤防高を1.6mも切り込んでおり、高潮時には浸水を防ぐため陸閘(鉄扉)を閉鎖しています。
- ・電車の運行に支障をもたらすため、社会生活にも悪影響を及ぼします。



それぞれ陸閘を有している阪神西大阪線淀川橋梁、淀川大橋(国道2号線)、伝法大橋(国道43号線)を改築することにより、高潮時にも鉄道及び幹線道路が遮断されず、また、陸閘の操作・維持管理や水防活動も軽減されるなど、地域への治水上安全度の向上はもとより、社会経済活動に与える影響は多大である。

提案理由 (代替案含む)

阪神西大阪線淀川橋梁改築の必要性

1. 橋梁が堤防を切り込んでいるため、高潮による浸水防御を陸閘 (鉄扉) に頼っている。

事業の特性

橋梁改築にあたっては陸上の取り付け部も含めて施工する必要があり、施工延長も長く多大な費用が必要である。

また、これら陸上部には高規格堤防の整備やその他関連事業もあり、これら事業や沿線住民とも十分協議 調整する必要があり時間を要する。

よって、河川整備との優先度を十分に判断し、実施するものとする。

具体的な整備の内容

- ・阪神西大阪線淀川橋梁の改築の実施時期を検討する。
- ・他の同様の橋梁 (淀川大橋、伝法大橋) の改築を検討する。

説明資料(第2稿)での記載箇所		章項目	5.3.2 5.3.3	ページ	p.41 p.42	行	6行目 28行目
事業名	陸閘操作時間の短縮化の実施		河川名	淀川			
府 県	大阪府	市町村	大阪市福島区 西淀川区		地先		

現状の課題

一部の橋梁横断部では所定の堤防高さを有しておらず、中には高潮時には陸閘によって浸水を防ぐことを余儀なくされた橋もあり、陸閘操作時には、鉄道及び幹線道路が遮断されることから、社会経済上大きな影響を与えている。南海大地震発生時には、淀川河口まで約2時間で津波が押し寄せると推定

河川整備の方針

津波来襲時の陸閘等の迅速な操作・開閉時間の短縮化を可能とするため、施設の改良と情報伝達の強化を実施する。

位置図



具体的な整備内容

高潮や津波来襲時における陸閘操作にあたっては、交通を遮断する必要があり、関係機関との協議及び調整の迅速化を図ると共に、機械設備の改造を行うことで、操作時間の短縮化を実施する 淀川大橋

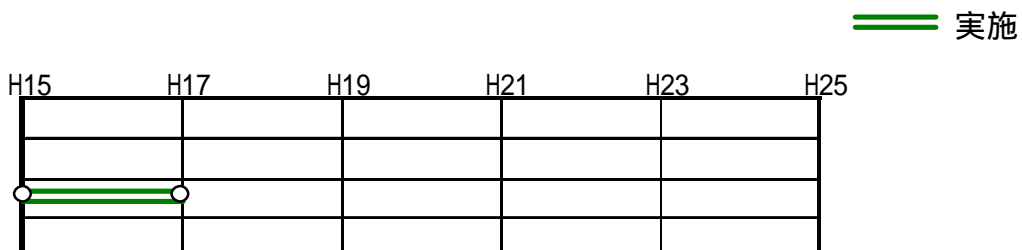
事業の数量 諸元等

淀川陸閘ゲート開閉装置改造(左右岸)

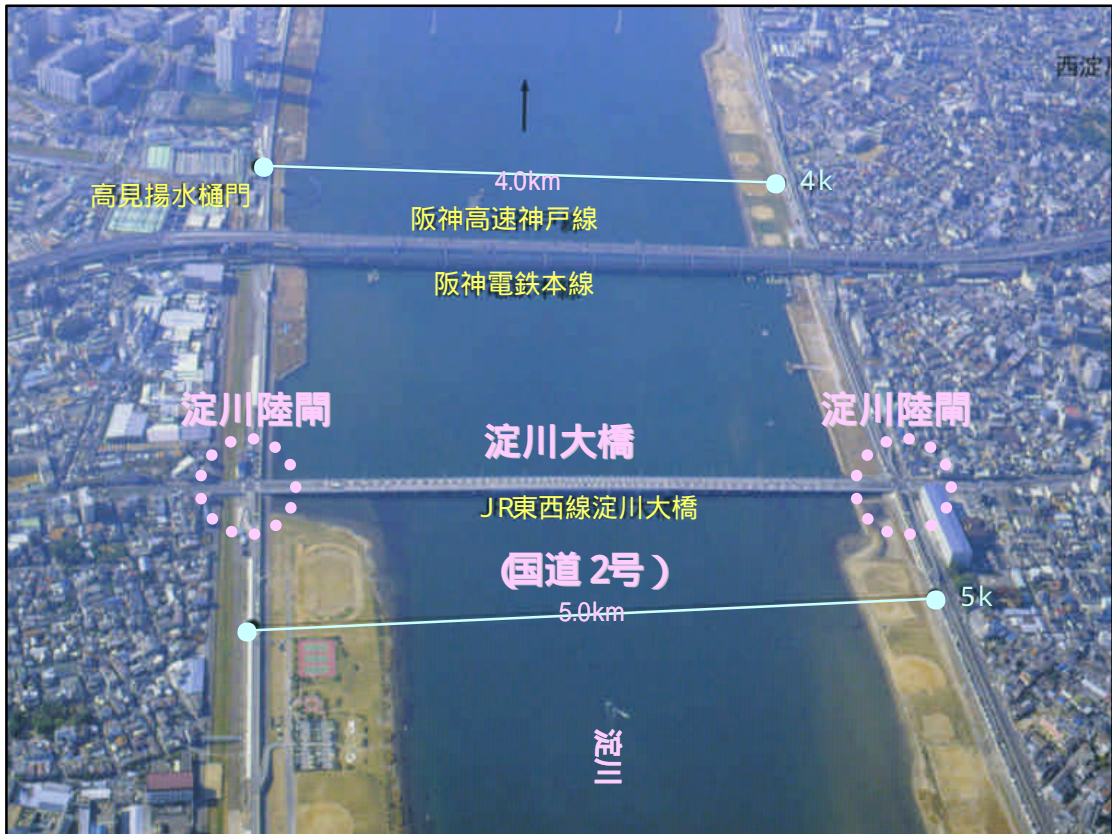
事業費

全体事業費 約1億円
うち整備計画期間内事業費 約1億円

スケジュール



平面図 (機構図、体制図)



陸閘操作の短縮化の実施

**淀川陸閘
操作時間の短縮**



整備効果

・操作時間の短縮

南海大地震発生時には、淀川河口まで約2時間、淀川大橋まで約2時間30分で津波が押し寄せると推定される。

陸閘操作時間を短縮化することにより、事前調整の時間がより確保でき、また交通遮断や迂回路への交通集中などの時間が短縮され、社会経済的損失も軽減される。

また、緊急時における迅速な水防活動を行うことができ、水防団等の労働負担の軽減を図ることができる。

提案理由

開閉装置の改善により、陸閘の操作時間の短縮を図る。

陸閘閉鎖を行うためには、交通遮断を行う必要がある。交通を止めるためには、道路管理者を通し、警察との協議を行い、了解をとった上で、閉鎖のための出動要請を行い、交通止め・安全確認をし、閉鎖することになりますが、この間の関係機関との協議調整に相当時間を要している。

関係機関との協議調整は迅速に行いますが、機械設備の改良を行うことにより、閉鎖時間を少しでも短縮することも併せて行う必要がある。

陸閘操作時には、幹線道路が遮断されることから、社会経済上大きな影響を与えている。

